

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年6月1日
学校法人聖公会聖ヨハネ学園
四恩幼稚園 園長 藤本昭子

1. 本園の教育目標

- ・人格形成の基礎を養う重要なものと認識し、人として「目に見えない大切なもの」に気づく。
- ・遊びを通して社会性を身に付ける。
- ・家庭と連携して基本的な生活環境を身に付ける。
- ・祈りと感謝の心をもつ。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

年主題「つながって～今、わたしを生きる～」をもとに、いつも神さまが守ってくださっていることを心に留め、子どもたちにとって、大切な家族・友だち・近隣の人などたくさんのつながりの中で安心して自分を表現できる豊かな心を培う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	年齢に合わせたカリキュラムが組み立てられているか。	A	体力作りための遊びを通じたカリキュラムを学年ごとにたてるなどの工夫をした。また、全学年でマラソンに取り組み寒さに負けない強い体と心を養った。
2	環境を整え遊びやすい状況が設定されているか。	A	自由遊びを主体として、子どもたちの自発的な遊びの展開を見守りつつ、時には遊びが発展していくように各保育士がリードしてきた。
3	気になる子の支援計画の組み立てができているか。	B	保護者との面談を密にして互いに伝え合い、相談できる専門機関とも連携をとり相互交流を図った。その上で常に支援計画を見直し更なるステップに導けるようにした。児が安心して園生活が送れるように取り組んでいる。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	キリスト教保育に示されている月ごとの主題に合わせて、一人ひとりに寄り添う保育を心掛け達成できた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	園内のどこに危険があるのか、教職員で話し合い安全管理に努めたい。また、突発的な自然災害に備えた訓練を強化していく。津波の想定に備え、より高いところへの避難のため農業会館屋上に避難できるように交渉した。今後も続けて行きたい。
2	地域とのかわり	仲間を作って遊ばせたいと思う保護者のために、未就園児の来援をホームページで呼び掛け、子育て相談の場・遊びの場としてもっと活用できるようにしていく。
3	園内研修	キリスト教保育とは何かと言うことを教職員全員で話し合うことを通して互いの保育に対する理解を深めていく。またキャリアアップ研修を活用し、各教諭がスキルアップをすることを常に目指し、専門性を高めた上で研修を行きたい。

6. 学校関係者評価委員会の評価

学校評価委員にはアンケートを出して、その結果を集計。行事に積極的に取り組む努力が見られた。これからも、子ども達にとって大切な経験が失われることのないよう努力をしていって欲しい。